

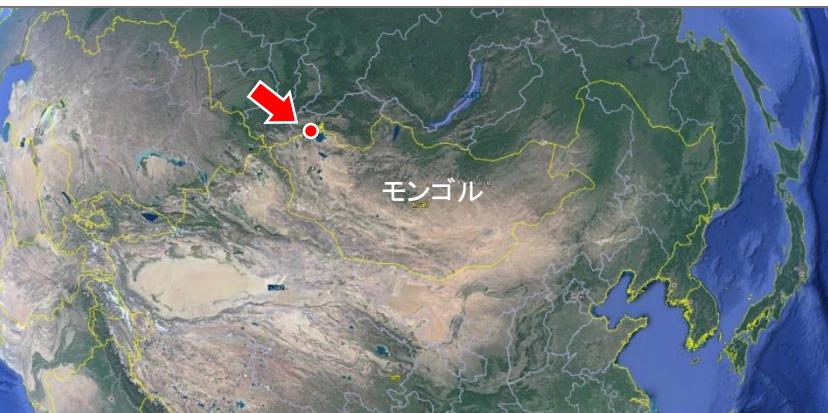
第26回 アジア歴史講演会

モンゴル高原のミイラは何を物語るのか？

—ウイグル時代岩塩採掘工人の証言—



シュグデンノール発見のミイラ



シュグデンノールの位置

2018年1月、モンゴル・ウブス県北部にあるシュグデンノールの岩塩露天掘り坑から一体のミイラが発見されました。歯を試料として年代測定したところ8世紀代、ウイグル時代のミイラであることが判明しました。このミイラは何を携えて現代に姿を現したのでしょうか？

モンゴルを含む北アジアではミイラの発見があいついでいますが、多くの場合、階層の高い人々のミイラです。これに対し、シュグデンノールのミイラは平民、労働者と考えられます。

今回のアジア歴史講演会では、このシュグデンノールのミイラに注目したいと思います。

【日 時】

2018年12月19日(水)

17:30 開場

18:00 開演

19:30 閉会

【会 場】

愛媛大学メディアホール

松山市文京町3番

愛媛大学城北キャンパス

総合情報メディアセンター1階

【報告者】

ロチン・イシツェレン
(モンゴル科学アカデミー
歴史・考古学研究所)

(日本語講演)

申込不要・入場無料

【問い合わせ先】

愛媛大学

東アジア古代鉄文化研究センター

Email : kotetsuAIC@gmail.com